

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」取得単位表

氏名

【ローカルチャレンジ】

| 番号 | 区分 | 科目名称 | 実施主体 (高等教育機関・シティカレッジ) | 代表教員 | 実施時期 | 単位 | 備考 |
|------|----|-------------|--------------------------|------|-------|----|----|
| 記入例1 | | 石川県の市町 | シティカレッジ | 古畑 | 令和2年度 | 2 | |
| 記入例2 | | 社会調査論 | 金沢大学 | 真鍋 | 令和3年度 | 2 | |
| 記入例3 | | フィールド実習 | 石川県立看護大学 | | 令和3年度 | 1 | |
| 記入例4 | | 石川の自然と農林水産業 | 石川県立大学 | | 令和3年度 | 2 | |
| 1 | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | |

ローカルチャレンジは、次の3群と最低単位で構成する。単位は、各大学の授業履修単位を想定している。

A群：地域を理解する科目群（石川理解を含む）

- ・シラバスに地域理解を明記している科目から構成する。
- ・大学が開講する独自科目のほか、シティカレッジ開講科目「石川県の市町」、「石川県の行政」、「金沢の歴史と文化」、インターネット教材「いしかわで学ぶ未来可能性」を含めることが望ましい。

B群：フィールドワークの基礎を学ぶ科目群

- ・シラバスにフィールドワークの知識や技術を明記している講義・演習・実習科目から構成する。

C群：フィールドワークの実践から学ぶ科目群（報告会を含む）

- ・実習やインターンシップなどの教室外での実践的な科目から構成する。
- ・取り組みの成果を報告・フィードバックする報告会を含むことが望ましい。

修了要件：15単位以上とする。

- ・A・B・C群ごとの必要単位数は各大学の事情に応じて変更することができる。
- ・単位化されていないプログラムは、各大学の基準に基づいて相当する単位としてみなすことができる。
- ・二つのプログラムを認定する場合は、A群における科目の重複を認める。

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」取得単位表

氏名

【グローバルチャレンジ】

| 番号 | 区分 | 科目名称 | 実施主体 (高等教育機関・シティカレッジ) | 代表教員 | 実施時期 | 単位 | 備考 |
|------|----|--------------|--------------------------|------|-------|----|----|
| 記入例1 | | 石川県の市町 | シティカレッジ | 古畑 | 令和3年度 | 2 | |
| 記入例2 | | 異文化コミュニケーション | 金沢大学 | | 令和3年度 | 1 | |
| 記入例3 | | 15国際看護論 | 石川県立看護大学 | | 令和2年度 | 1 | |
| 1 | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | |

グローバルチャレンジは、次の3群と最低単位で構成する。単位は、各大学の授業履修単位を想定している。

A群：国際を理解する科目群（石川理解を含む）

- ・シラバスに国際理解を明記している科目から構成する。
- ・大学が開講する独自科目のほか、シティカレッジ開講科目インターネット教材、「いしかわで学ぶ未来可能性」を含めることが望ましい。

B群：異文化コミュニケーションを学ぶ科目群

- ・シラバスに異文化理解を明記している講義科目とコミュニケーション技術を学ぶ演習・実習科目からの両方から構成する。

C群：海外交流の実践から学ぶ科目群（報告会を含む）

- ・留学や海外インターンシップの実践的な科目から構成する。
- ・国内で開催される国際交流プログラム（1単位以上相当）を含むことができる。
- ・取り組みの成果を報告・フィードバックする報告会を含むことが望ましい。

修了要件：15単位以上とする。

- ・A・B・C群ごとの必要単位数は各大学の事情に応じて変更することができる。
- ・単位化されていないプログラムは、各大学の基準に基づいて相当する単位としてみなすことができる。
- ・二つのプログラムを認定する場合は、A群における科目の重複を認める。